

# 北大・医大 進学塾

2024-2025

## 3学期

### 入塾案内

高2・3生

高1生〈中高一貫〉

高卒・再受験生

## 受験のプロ集団。ここに集結。

道内最高のプロ・スタッフが  
「少人数授業」+「個人指導」  
による合格指導を展開しています

## 合格は学習環境で決まる

医学部や難関大合格のためには、越えねばならぬ壁が2つあります。1つは偏差値55手前の「基礎の壁」、2つ目は医学科ボーダーに近い偏差値65手前の「応用の壁」です。これら2つの壁付近で伸び悩む受験生が実に多いのです。これらの壁を短時間で超えるには、経験豊富な講師による「少人数授業+個人指導」が最も有効です。合格のための無理のない緻密な「学習計画」と、志望大の出題傾向に合致した「テキスト」も大切です。本塾は、受験を熟知したプロのスタッフが受験生に最高の環境を提供しています。

# 合格への最短指導を実施

本塾では、短期間で学力を最大限に引き上げ、合格を確実にする最良の学習方法を実施しております。本塾の最大の特徴は**8名限定の少人数クラス**で、年間を通してきめ細かい指導を行っている点にあります。長い受験指導で得た経験から、以下に具体的に述べられている独自の合格指導を展開します。受験に精通した講師陣による効果的な学習指導やアドバイス、さらに精選された良問で構成された**オリジナルテキスト**の使用に加えて、北大卒の現役医師による受験指導と豊富な経験に裏打ちされた顧問の進路・進学アドバイスなど、最短で「合格」するための最良の学習環境が本塾には整えられています。

## ■受験に精通した学習指導講師

医学部などの難関大の合格には高い学力が必要となります。それを達成するには受験に精通した講師の指導が不可欠です。複雑にからまった知識をきちんと整理して理解させ、それを入試で引き出させる指導力が必要なのです。学力を上げてくれる本物の講師は、受験生の学力の弱点を分析できる能力をもち、そして受験生一人ひとりに情熱をもって指導する、いわゆる教育者でもあります。本塾ではそんなプロの講師が全力で合格指導をしています。

## ■北大卒の現役医師による受験指導と経験豊富な顧問の進路・進学アドバイス

医学部などの難関大は、学力が高ければ合格するとは限りません。模試A判定で不合格となり、E判定で合格することも珍しくありません。また、札医大がC判定なら全国の多くの大学がC判定となりますが、合格率は現実には同じではありません。各教科の学力や特性によってCがAやEになるのです。本塾では北大卒の現役医師による受験分析と経験豊富な顧問が成績を紐解いて、具体的な進学指導をおこなっております。

## ■各講座8名限定の「少人数授業」＋「個人指導」体制

本塾の各講座は8名限定となっています。少人数にしているのは、「少人数授業」＋「個人指導」が短期間で最も学力が上がるためです。少人数授業は緊張感があり集中力が養成され、また、良い意味での競争意識が芽生えます。本塾では個人質問を大歓迎しています。講師陣との触れ合いで、短期間で停滞している学力を飛躍的に伸ばすことができます。

## ■目標大学に合致したテキストを使用

学力を大きく上げるには使用するテキストがとても大切です。市販の問題集や一般的な予備校・塾でみられる全国一律の共通テキストでは、受験生にとって効果が上がらない場合も多いです。すべての勉強はつながっていますから、共通テストも視野に入れて、常に基礎を確認しながら二次試験にまで通用する高レベルの学力に引き上げるテキストが不可欠です。本塾では、経験豊富な講師陣が問題を精選したオリジナルテキストを使用しています。毎年入試本番でも類似問題が数多く出題されています。

## ■実戦演習指導を実施

本塾で実施する講座は、授業中または終了後に問題演習を行うことがあります。授業を理解できたかを確認し応用力を養成するには、この授業＋αの演習が最上といえます。また答案の書き方も学ぶことができます。そしてこの実戦演習は、本番への試験慣れや解法のスピード感覚を鍛えるという訓練でもあるのです。これは本塾独自の指導方法です。

## ■AO・推薦入試の受験指導を実施

最近ほとんどの医学科でAO・推薦入試を実施しています。本塾では予備校在職時から長年推薦指導をしてきた顧問が中心となって、塾本科生を対象にAO・推薦入試対策指導を実施しています。

## ■進学講演・個別進学相談を実施

本塾では塾長および顧問による進学指導や個人指導、資料配付等を実施しています。内容は、受験の心構え、合格学習計画、効果的な学習法、入試の変更点、共通テスト・2次・私大対策、現役医師目線での医学部受験戦略、現役医師から受験生へ伝えたいことなどです。また、進学相談はいつでも受けられます。

## ■自習スペースの利用

開塾時間に利用することができます。授業のない日は原則として休塾のため自習室は利用できません。詳細は塾スタッフにお気軽にお問い合わせ下さい。

# 3学期実施要領【期間・実施科目等】

本塾のすべての講座は、高校の学年や年齢などによる受講制限はありません。志望大の受験科目や、現在の学力によって講座を選択してください。各講座は対面講座8名限定です。本講座はビデオ録画による後追い学習はできませんので、ご承知おきください。

## ■ 3学期実施期間

1月23日（木）～ 3月17日（月）

## ■ 3学期実施講座

医学部START講座「数学」（全8回）

医学部START講座「英語」（全8回）

## ■ 講座開講日程

	期間	日時
医学部START講座 「数学」	1/23 ～ 3/13	毎週木曜日 18:30～20:40
医学部START講座 「英語」	1/27 ～ 3/17	毎週月曜日 18:30～20:40

## ■ 注意事項その他

数学・英語ともに来春の医学部・難関大合格を目指すハイレベルな授業内容になります。無料体験も可能ですので体験を通して現在の理解定着度を確認の上、お申し込みください。

1. 上記講座は、高校の学年や年齢などによる受講制限はありません。  
以下の講座内容の対象もあくまで目安です。  
志望大学の受験科目や現在の学力を客観的に自己分析して、講座を選択してください。
2. いずれの講座も少人数指導のため各8名限定となっています。  
定員になり次第締め切りとなりますので、事前にご了承ください。
3. この他に空いている曜日や時間を使って特別講座を実施することもあります。  
詳細は適宜お知らせします。
4. 本講座はビデオ録画による後追い学習はできませんので、ご承知おきください。

# 講座内容<講座担当講師より>

## ■ 医学部START講座「数学」

担当 岸田 諒 先生

### ◆授業スタイル

この講座では頻出かつ重要な入試問題を中心に扱い、その解説に時間を割きます。新高3生、浪人生問わず、もし予習内容が未履修の場合でも、教科書や参考書に一通り目を通し、出来る限りの解答を用意して来てください。予習をしっかり行うことが理解定着にはとても重要です。毎回の授業ごとにテーマを設けていますが、実際の入試問題では、その大問1題を明確にどのテーマに振り分けられるのか判断するのは難しいところです。本講義では試験本番で受験生誰もが解き切りたい問題を選んでいきますので内容が濃いと思います。是非、予習と復習の繰り返しで理解の精度を上げてください。スピードは後から補えます。

### ◆予習の意味とは？

まずは毎回の授業に備えて問題をなるべく100%解き切るつもりで臨んでください。この場合、時間をいくら費やしても構いません。結局なぜ授業に参加するのでしょうか？それは、受講生の方が事前に問題を解いた道筋が授業での解説と一致しているか、その答え合わせのためです。家で一人参考書を見ながらそれをノートに写すのとは事情が違います。予習には本気で取り組み、自分は何がわかっていて何がわからず予習問題が解けなかったのか区別できた状態で教室に到着すれば最高です。これが予習の目的です。

### ◆この塾で学ぶ意味とは？

では映像授業でもいいのでしょうか？いえ、例えば、紅白歌合戦を録画で見ると人は少ないはずですが、大晦日に見るからこそ楽しいのです。結局リアルタイムで体感するからこそ魅力的だと信じています。臨場感が違います。高校や予備校の授業が受講生の理解を促すためのもの、あるいは入試科目の得点向上を目的とするならば、8名限定の少人数の本塾では、張りつめた臨場感とリアルな授業体感で得点向上を目的とします。少人数だからこそその臨機応変の効いた授業には、大人数の予備校や高校とは全く違った「わかる実感」が得られるのです。是非皆さんも体感してください。

## ■ 医学部START講座「英語」

担当 林 伸昭 先生

◆「英文を読める」ということはどういうことでしょうか。最終的に、構文、単語などを個々には意識しないままに、文頭から語群ごとにどんどん読み下していけるということです。「意識しない」からといって決して知らなくてもよいということではありません。細かな事項を徹底的な練習で身につけているから「意識しない」で済むのです。残念ながら、今の英語教育ではそのような基礎事項を徹底的に習得する方向には進んでいないように思えます。「構文の暗記など無駄」「文法は英語理解の邪魔」「単語は類推すればよい」「熟語はテキストに出てくる範囲で十分」というようなことを信じていると、いつまでたっても正しい英語力は身につけません。一見遠回りに思えるかもしれませんが、安易な即効性を求めたりせず必要なことを一つずつ着々と習得していくことが、英語を攻略する近道といえます。

◆北大・医大進学塾の一年間では、構文、文法の習得を中心に据えて、長文読解演習を行っていきます。その観点から4月からの本格的なスタートの前段階として3学期の8回の医学部START講座の授業では大学受験のために習得すべき文法の大まかな復習と、英文を読むためにはどういうことを攻略していかなければならないかということの一端を、まとまった英文を読みながら考えていきます。

◆予習の仕方としては、ポイントの説明を理解し、文法問題に解答した後、英文にざっと目を通し、どの程度まで英文を読めるかを確かめて下さい。今の自分の力がどの位なのかが計れます。問題文はこの1年間でどのくらいの力をつけなくては行けないかがわかる少し難しめの過去の入試問題になっています。辞書を十分に利用しながら全文の意味を考え設問に答えてください。考えてもわからない箇所は出てくるでしょうが、それは授業の説明で解消していけばいいので安心してください。ただし必ず予習はやって、分かる点、分からない点をはっきりさせておくことが授業に出るための絶対条件です。

◆医学部英語攻略の土台となるこの3学期の授業を、これからの英語学習のための実りある出発点にしてください。

# 講座担当講師・塾長紹介

## ■ 岸田 諒 先生 (数学)

北海道大学理学部生物学科卒業後、同大学大学院生命科学院博士課程において最先端の生命科学分野を学ぶ。生命科学の面白さに学部学生の頃から強く惹かれ、大手学習塾などで数学・化学を中心とした理数科目で教鞭を執る。生物分野にも非常に長けており、生命科学領域の知識は比類ない。最先端生命科学領域で日々実験・論文活動も行っている現役の科学者であり、そのため最新の受験問題に出題されやすいトピックに非常に敏感である。これを受験生が理解しやすいレベルで説明できるため、これまで指導してきた受験生は口々に「数学・化学が好きになった」「大学で生命科学をさらに深めたくなった」と言う。

温厚で落ち着いた性格であるため、質問の対応も丁寧親切であり、受験生からの信頼も厚い。どんなに基本的な質問でも、ゼロから親身になって教えてくれる。そのため理数科目に苦手意識を持つ学生の救世主となっている。「授業では受験会場で初めて見た感覚で。」「予習は正確に。精度が先。スピードは後。」を方針に、基本的な問題を大切にし、その一問を深く理解して本番で応用できる指導を心掛けている。これから医学部に入り医師を志す受験生の更なる生命科学への探究心を満たしてくれる講師である。

## ■ 林 伸昭 先生 (英語)

小樽商科大学卒業後、筑波大学大学院教育研究科英語教育コースで修士号を取得、その後同大学院で長期研修を行いながら、札幌市内および市外の進学校で教鞭をとる。平成19年より、宮崎公立大学人文学部国際文化学科で研鑽を積み、多くの論文や書籍を執筆し、同大学の教授へ就任する。親身あふれる生徒への指導は有名で、「苦手な英語がスラスラ読めるようになった!」「複雑な構文も正確に速く読み解けるようになり、英語が得点源になった!」などの声を多数耳にする。小手先のテクニックではなく、“英文を正しく読み理解する力をつける”をモットーに指導するスタイルのため、本番でどんな問題が出て自信をもって回答できると生徒から評判である。

英語が苦手な生徒は得意科目へ、得意な生徒はさらなる高みを目指せる指導である。また、入試英語だけでなく、一生涯使える英語としても評価が高く、大学入学後のアカデミック領域でも活躍できる英語力を養う真のエキスパート講師である。

## ■ 矢ヶ部 俊彰 (塾長)

北海道大学医学部卒の現役医師、北大・医大進学塾の前身である医学進学塾生であった。地方高校から2年間医学進学塾の学び舎で本気で勉強し、第一志望に合格した。自身の経験から、受験生の学力面でのサポートのみならず精神的サポートも含めたトータルケアを実践する。客観的な分析と、実際に複数の医学部に合格した経験・ノウハウを学生に積極的に還元していく。誰に対しても壁を作らない気さくな性格であり、思いやりのある的確なアドバイスを提供してくれる。元医学進学塾生であった経験、受験に失敗した経験、苦学生であった経験、そして現役の医師である経験を存分に活かして学生・保護者の今と未来に実直に向き合う。

### 個人指導の重視

本塾はプロ講師と塾生が質問等を通して、親密に触れあう指導を実践しています。それが短時間で学力を伸ばす最良の方法です。



## 合格三力

合格には学力・気力・体力が不可欠である  
いずれが欠けても受験には勝てない

## 生活偏差値

受験のプロとして生活偏差値を高く保て  
一日一日を大切に勉強に集中没頭せよ

# 注意事項・塾内紹介

## ■ 注意事項

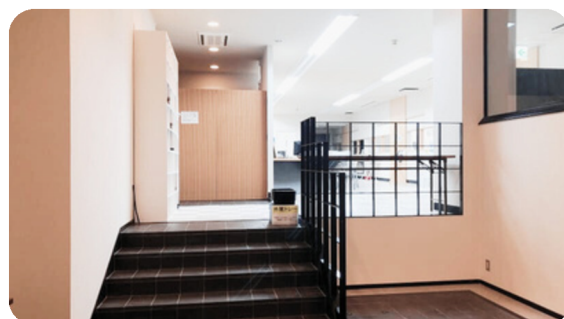
1. 学費の納入は一括納入をお願いしております。
2. 途中退塾の場合は、学費の返金はできませんので事前にご了承ください。
3. 後追いビデオ学習はできませんので事前にご了承ください。
4. 各講座は8名限定のため定員になり次第締切りとなります。
5. 塾内で大声を出したり騒いではいけません。また、飲酒・喫煙は退塾とします。
6. その他の禁止事項は教職員・事務スタッフの指示に従ってください。  
改善が見られない場合は退塾となりますので事前にご了承ください。

## ■ 塾内紹介



本棚と個人指導コーナー

赤本や教材がズラリ！塾生は自由に閲覧することができます。また個人指導コーナーでは授業の前後や合間でわからないことをすぐ講師に聞くことができます！



エントランスと下駄箱

下駄箱で上靴やスリッパに履き替えて教室に入ることができます。上靴などはご自身のものを下駄箱で保管可能です。



教室

メインで使用する教室です。1台または2台の電子黒板を使用して授業を行います。電子黒板上での書き込みや消去がスムーズであるため、授業時間内に多くの内容を伝えることができ、授業効率がUPします。



(左)事務カウンター(右)教室

事務スタッフが常駐しています。事務スタッフの中には、北大医学科を卒業した息子を持つ母や、北大の卒業生、看護師や放射線技師の資格を持つスタッフもいます。

# 2023年 合格大学（一部抜粋）

札幌医大(医)(看護)山形大(医)北海道大(総合理系・2名)弘前大(工)岩手医大(医・2名)川崎医大(医)  
福岡大(医)東京女子医大(医・2名)

## 2023年 合格体験記

### 札幌医大（医一医）合格 Rさん（札幌南高校）

この度、札幌医科大学に合格したRと申します。北大・医大進学塾を知ったきっかけは、浪人をする決意をしたときに学校の先生に相談し、こちらの塾を紹介してもらったことです。昔から医学部を専門とする学習塾ということや、もともと自分はあまり大人数で授業を受けるスタイルの予備校や塾が得意ではなく、医学部に特化して少人数授業を中心にしていること、塾長先生と面談した際に目からウロコの話が多く「この塾なら信頼して頑張れそうだし！」と思えたことが決め手でした。結果的に、その選択は大正解だったと思います！

自分は個別指導を中心に、必要に応じて集団授業を受けるという勉強方法で一年間勉強しました。個別指導では、苦手な数学と物理を中心に教えてもらい、秋までに偏差値65の壁を超えることができ、本番でも高得点を取ることができました。特に数学は図形を題材にした問題が中学生の時から苦手でしたが、補助線の引き方、空間図形の切り出し方などをゼロから丁寧に教えてもらい考え方が身につきました。今までの考え方では問題自体は解けても時間内に解ききれないことや、解法の着眼点などをマンツーマンでみっちり教えてもらったため、短期間で成績が大きく上がりました。わからないことはすぐその場で聞けるため、かなり効率よく学習を進められました。また、自分が目標とする医学生が隣で教えてくれるので、自分もその立場になりたいと高いモチベーションを維持して一年間勉強を続けられたのも大きかったように感じます。

集団授業は、季節別の講習を利用しました。個別指導を補う形で利用し、知識の抜けが出ないように気をつけました。その際に、塾長先生に相談すると、どの講座を取れば良いか細かく的確にアドバイスをくれたので、必要な講座に集中できました。

最後に、塾長先生をはじめ、各先生やスタッフの方々がとても親身になって相談に乗ってくださり、この一年間大変でしたが大船に乗った気持ちで本番を迎えることができました。いつでも塾長先生に相談すると、受験全体の的確なアドバイスをもらえました。受験全体のことは塾長先生に、各教科の細かな内容は各先生に相談でき、すぐに疑問点を解決できる環境が整えられていてすごく心強かったです。このような環境で勉強できてとても感謝しています。これから受験生になる皆さんも、もし塾選びで迷っているなら一度行ってみてはいかがでしょうか？

改めて、北大・医大進学塾の塾長先生、各先生、スタッフの皆様、本当にありがとうございました。

### 岩手医科大学(医一医)合格 Sさん（市内私立高校）

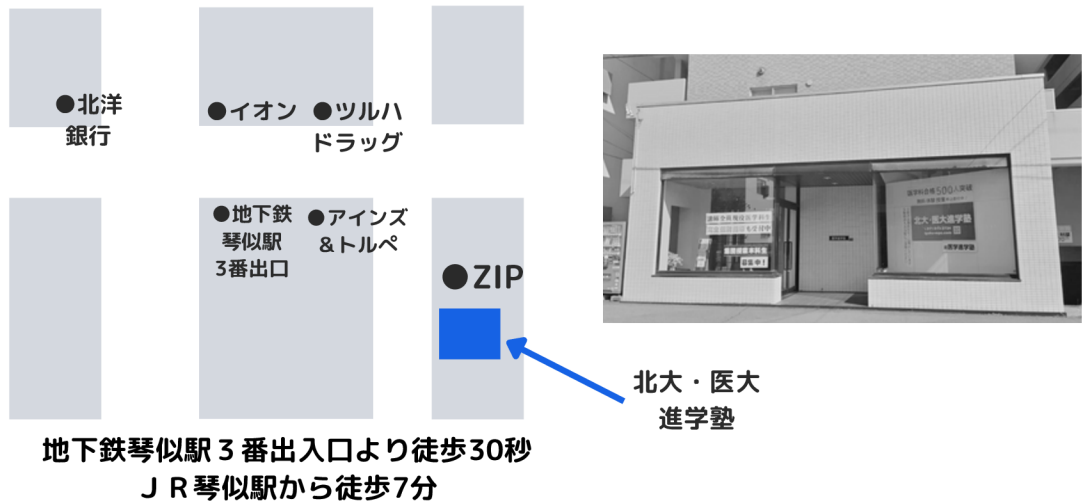
この度、岩手医科大学医学部医学科に合格しましたSと申します。高校2年生の終わりごろ父が北大・医大進学塾を探して教えてくれたのがきっかけで、個別指導をはじめました。先生が医学科生ということで何を聞いてもすぐに答えが返ってくるので勉強の効率がグンと上がりました。また、先生と年齢が近く親しみやすかったので「こんな基本的なこと聞いても大丈夫かな？」ということもたくさん聞けました。自分が解けた問題と解けなかった問題からおおよその「学力レベル」を把握し、問題を選んでくれたので順調にステップアップしていくことができました。たぶん自分一人では正確に「自身の学力レベル」と「合格するための学力レベル」を知ることができなかったので、とても効率よく勉強できたと思います。

学校だけでは一人ひとりに合った十分な指導は難しいと思うので、時間が限られている中では塾を活用するのは良いことだと思います。特に医学部など高レベルの受験では自分でやるより北大・医大進学塾のようなノウハウを持ったところにある意味「お任せ」するのがオススメです。

約1年間お世話になりました。先生だけでなく塾長さんにも精神的にサポートをしていただき、最後まで走り切ることが出来ました。ありがとうございました。次は皆さんの番です。頑張ってください！（一部抜粋）

## マイ・フィロソフィー

受験時代は  
誰のものでもない  
自分自身のたった一度の  
生をみつめ  
未来を実現するために得た  
貴重な時間だ  
自らの計画にしたがって  
克己の精神と  
勇気をもって  
自分自身の生涯をつらぬく  
熱いものを  
精一杯追いたまえ



講師全員現役医学部医学科生の  
個別指導も展開中！

# 北大・医大進学塾

〒063-0811 札幌市西区琴似1条4丁目4-10

TEL/FAX 011-613-2724

<http://www.igaku-mps.com>



HP



塾長ブログ